

らるるの原くきれ
おろろよおろろれ
ておろろろろ事
しん 後まそうぬ
ばらららと商人子あよ
て今日 yoo. No. の
る事はさしてアる
る 毎々面め
北河北くろくろく
しんまのけん北
るまらららら人お
くろくろくまむろく
いんまららららら



しやみなるが
はるくさけお
人けち海もつて

うむしぐるとはこひ

ちと稲舟でつれ

てらつてもつてお

現まらしてア〜名

表長衣はよく〜

おすの月夜〜

ちんぷん廿三〜

りのりいねと書

えみ〜

内終る〜

去んて十日お久お

勢成〜

まゆ〜

〜

星河船共〜

〜

和尙よ世が使神〜

およくは好む書信よ

之

和尙よ世が使神のやうなる
およくは好む書信よ
おろほとり小書御
るのい多事
羅紗北お綴よ業ひも
周山下 思北
つ

右より由と左清し無之者也

悟及大
其

山
平

毛筆書簡

水滸



本間文庫
文庫 14
C 71

